

=====

◆□◆◆□ 群馬産業保健推進センター メルマガ第 31 号 ◆□◆◆□
□◆□◆□ ホームページ <http://www.gummasanpo.jp/> □◆□◆□

=====

このメールマガジンは群馬産業保健推進センターのホームページに掲載された新着情報や産業保健情報を配信します。

目 次

1. 群馬衛生管理者協議会総会・交流会の日程について
2. 産業保健セミナー（7・8月の予定）のご案内
3. 6月のセミナー結果
4. その他関係機関の動き
5. 「事業仕分」後の動き

群馬衛生管理者協議会総会・交流会の日程について

6月30日に「群馬衛生管理者協議会」の役員会が開催されました。

議題は本年度の総会・交流会の持ち方についてでした。年々総会・交流会への参加者が減少していることから、少しでも多くの方に参加いただける魅力的な交流会について検討しました。

さまざまな、活発な討議の後、次のような結論になりました。まだ先のことで、正式なお知らせは10月頃お出ししますが、どうぞ今から予定しておいて下さい。

日 時	平成 22 年 11 月 17 日（水）13：00～
場 所	前橋テルサ
内 容	総 会 小講演会 交流会

産業保健セミナー（7・8月の予定）のご案内

平成 22 年度 1 年間の研修はホームページに掲載してありますが、ここでは 7・8 月分を掲載します。夏休みの時期ですが是非ご参加ください。

（1）最近の労働衛生関係法令の動向

開催日時	7 月 1 3 日（火）1 4：0 0～1 6：0 0
会 場	群馬産業保健推進センター 研修室
講 師	権田 修 氏（群馬労働局 労働衛生専門官）

内 容 最近の関係法令の改正や新しい通達等について分かりやすく説明します。

(2) 産業医に役立つカウンセリング（産業医対象 生涯・専門・2単位）

開催日時 7月15日（木）15：00～17：00
会 場 前橋テルサ つつじ
講 師 羽鳥 裕明 相談員（カウンセリング担当）
内 容 近年、企業においてメンタル不調者が増加しており、その対応として産業医にもメンタルヘルスに対しての知識とスキルが求められるようになってきました。メンタルヘルス不調者とコミュニケーションをはかる上で必要となる基本的なカウンセリング技法を学ぶとともに、実際の現場で起こっている問題などについても事例を通して学んでいただける内容となっています。

(3) 保護具の最前線

開催日時 7月21日（水）14：00～16：00
会 場 太田市社会教育総合センター 視聴覚室
講 師 大澤 武克 相談員（衛生工学担当）
内 容 保護具は着用しているだけでは安全・衛生の確保は難しい？ちゃんとした装着でないとかえって危険！！最新情報も入手できるかも？

(4) カウンセリングシリーズ編・傾聴理論

開催日時 7月27日（火）14：00～16：00
会 場 県庁昭和庁舎 26 会議室
講 師 羽鳥 裕明 相談員（カウンセリング担当）
内 容 傾聴トレーニングはただ単にやっただけで終わらせてしまうのではなく、トレーニングを振り返り、一つ一つを確認していくことでスキルアップが図れます。相手が話した事柄だけでなく、それにどのような意味があったのかを考えるステップはカウンセリング技術向上になくてはならないものです。逐語検討などを通して結果を振り返ると共に「自分だったらどうするか」を考えることでスキルアップを図ります。

(5) 一緒に考える製造現場における衛生管理者の役割

開催日時 7月29日（木）14：00～16：00
会 場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講 師 長井 和俊 氏（信越化学工業株式会社衛生管理者）
内 容 製造現場は種々の物質を取り扱っております。作業環境測定や特殊健康診断を行うものの、一番大事なのは衛生管理者の活動です。衛生管理者とは現場を巡視し、現場の改善を説得して回るというハードな業務であり、その一端をご紹介します一緒に考えます。

(6) メンタルヘルス不全者の早期発見・早期介入

開催日時 8月4日(水) 14:00～16:00
会場 群馬産業保健推進センター 研修室
講師 竹内 一夫 相談員(メンタルヘルス担当)
内容 メンタルヘルス不調者の早期発見・早期介入のための基礎的知識のレビューを行う。仕事ストレスからメンタル不調に至るメカニズムとその評価方法、統計データの紹介、及び現場におけるうつ状態の見分け方などを中心にアウトラインを解説。(基礎レベル)

(7) 生活習慣病・肝炎対策

開催日時 8月19日(木) 15:00～17:00
会場 前橋テルサ つつじ
講師 田中 義 相談員(産業医学担当)
内容 企業健診の結果を見ると、生活習慣病といわれている高血圧症、糖尿病、高脂血症やその予備軍と診断される人が増加している。国は特に糖尿病患者が増加していることに注目し、平成20年度から特定健診を実施し、メタボリック症候群対策を始めた。一方B型肝炎がC型肝炎のインターフェロン療法に対し、県から補助金が出るようになり、インターフェロン療法を受ける人も増加している。今回はこの2つのテーマについて説明する。

(8) カウンセリングシリーズ編・まとめ

開催日時 8月24日(火) 14:00～16:00
会場 県庁昭和庁舎 26会議室
講師 沼澤 文子 相談員(カウンセリング担当)
羽鳥 弘明 相談員(カウンセリング担当)
内容 シリーズのまとめとして、傾聴トレーニングを重ねると「こういうケースは実際にはどのように対応していくのが良いのだろうか?」という疑問が出てきます。このような疑問をどのように職場内に展開していけば良いのかを、長年実際の現場で対応してきた臨床心理士や産業カウンセラーが「事例」を交えながらお答えし、一緒に考えて行きます。

(9) 歯科保健から考える生活習慣病

開催日時 8月26日(木) 14:00～16:00
会場 高崎市総合福祉センター 会議室2
講師 山口 達雄 氏(山口労働衛生コンサルタント事務所)
内容 事業場での歯科検診は、重要です。「成人歯科健診」と「産業歯科検診」の違いと産業歯科医による歯科健診を行わなければならない職場を職業性口腔疾患と共に説明します。また、歯周病が全身に与える影響を解説します。

(10) 健診データのまとめ方と活用 (その3)

開催日時	8月31日(火) 14:00~16:00
会場	群馬産業保健推進センター 研修室
講師	藤田 晴康 相談員(産業医学担当)
内容	一般的な表計算をソフトを用いて健診データを効率的にまとめるコツを解説する。初心者のために前2回の復習を行いながら、今回はやや上級の手法(マクロ)にも挑戦する。

6月のセミナー結果

(1) 熱中症の予防

6月2日(水)、当センター研修室で、中村保子相談員(産業医学担当)に講師をお願いし実施しました。

労働災害としての熱中症の発生状況、熱中症の定義と症状、熱中症を起こす環境、職場での応急処置、病院へ送るタイミング、熱中症の予防、暑さ指数、日常生活での指標、暑さ指数と労働作業時間、熱中症対策アイテム、健康管理、教育、等大変分かりやすく、かつ職場ですぐに役に立つ内容の講義でした。

受講者からは、「勉強になった」というご意見をいただきました。

また、「駐車場の案内が不明であった」というご意見もいただきましたが、当センターは駐車場がないため、公共交通機関をご利用いただくか、近くの有料の駐車場をご利用いただくようお願いしております。申し訳ありませんがよろしくお願いいたします。

(2) 非正規労働者の健康管理

6月8日(火)、太田市社会教育総合センター 視聴覚室で講師に社会保険労務士の新井政信氏をお迎えして実施しました。

非正規労働者の定義、派遣社員と正社員のトラブル、心の健康問題等多岐にわたり非正規労働者の健康問題についての研修でした。受講者からは「事例等を含めた話を聞いて参考になった」「労務問題の話もあり参考になった」とのご意見のほかに「会場は机があった方が集中しやすい」というご意見もありました。

太田での会場は、ほとんど視聴覚室を使用する予定になっていますが、これは、スクリーンを使用しやすいことと、受講者が増えた時に対応できるという2点と、視聴覚室が比較的開いているということで使用しています。

(3) もう1度見直してみませんか? 労働衛生

6月10日(木)、当群馬産業保健推進センター 研修室で柿沼泰明相談員に講師をお願いし実施しました。

労働基準法や労働安全衛生法の目的から始まり、衛生管理者の役割と衛生管理の難しさを説明した後、「局排装置」や「保護具」等具体的な事例を中心に受講

者も参加しての研修でした。

受講者からは、「講義と他社の状況等の情報も聞けて良かった」「このような研修であればまた参加したい」等のご意見をいただきました。

(4) 測定機器の取り扱いと職場の改善（産業医対象）

6月17日（木）、前橋テルサ赤城で衛生工学担当の大澤武克相談員に講師をお願いし実施しました。

労働衛生の基本（有害物を使用しない・有害性の少ないものへの代用・密閉・局排装置・保護具の使用）、有害物質と健康障害・有害物質の発生源の対策等基本的な講義の後、「風速」「騒音」「ガス濃度」「粉塵」の測定を実際に体験していただきました。

アンケートには「とても实际的であって良かった」「職場点検のポイント・改善方法のアイデア等について簡明に教えていただいた。」「今後も同様の研修をお願いしたい」等のご意見をいただきました。

なお、この研修は、「実地」研修として実施しましたが、群馬県医師会との連絡が不十分だったため、「専門」の単位のシールをお渡ししてしまいました。研修終了後群馬県医師会から「実地」シールを送付させていただきました。受講頂いた先生方には大変ご迷惑をおかけしまして、申し訳ありませんでした。今後は十分に注意しますので、今後もご参加よろしくお願いいいたします。

(5) カウンセリングシリーズ編・傾聴

6月22日（木）、県庁昭和庁舎26会議室で沼澤文子相談員と羽鳥裕明相談員にお願いし実施しました。

シリーズ3回目で、傾聴の模範例の実演後、3人形式にて傾聴技法のトレーニングを行い、その後10人に分かれてロールプレイング等を行いスキルアップを図りました。

受講者の皆さんからは、「実習が良かった」「実際の対応をなんとなく感じる事ができた」「観察者の話を多く聞くことができてよかった」「参加者同士の交流もでき、リアルな実習ができた」などのご意見とともに「初めての参加だったので導入時の基礎的な資料が欲しかった」とのご意見もありました。

（研修風景の写真は当センターホームページからご覧になれます。）

その他関係機関の動き

＊ 7月1日（木）は群馬産業安全衛生大会&快適職場推進大会の開催日です。

開催日時 平成22年7月1日 午後1時00分

会 場 群馬県 JA ビル 大ホール

前橋市亀里町 1310

大会次第 第 1 部 表彰式

第 2 部 特別講演

「親子代々ものまね芸」 江戸家 猫八氏

当センターも会場内に資料を持参し、「メンタルヘルス対策支援センター相談窓口」を開設します。業務を調整して是非お出かけください。

* 平成 21 年業務上疾病発生状況等調査結果が公表されました～厚生労働省～

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/bukyoku/roudou.html>

* 「じん肺法施行規則及び労働安全衛生規則の一部を改正する省令案」の労働政策審議会に対する諮問及び同審議会からの答申について ～厚生労働省～

じん肺健康診断の判定基準等が見直され、健康診断結果等の様式が変わります

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r985200000071km.html>

* 平成 21 年度における脳・心臓疾患及び精神障害等に係る労災補償状況について
精神障害等に係る労災請求件数が前年比 2 割超えの増加～厚生労働省～

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000006kgm.html>

* シンポジウム「仕事とポジティブ・メンタルヘルス」のお知らせ

日 時 2010 年 8 月 10 日（火）3：00～16：00

場 所 女性と仕事の未来館ホール

東京都港区芝 5-35-3

基調講演 Wilmar B. Schaufeli（ユトレヒト大学教授）

パネルディスカッション

島津明人（東京大学）

亀田高志（株産業医大ソリューションズ）

河原畑剛（株ベネッセコーポレーション）

本田則恵（内閣府参事官）

座長：島津明人、五十嵐千代

参加費 3000 円

下記ホームページでご覧になれます。

http://www.uoeh-u.ac.jp/kouza/ssangy/mental_j.html

* 日本産業精神保健学会のお知らせ

平成 22 年 7 月 16 日から 17 日に金沢市において開催されます。（再掲）

http://www.jsomh.org/modules/pico/index.php?content_id=26

* 熱中症による死亡災害発生状況（平成 21 年分）について～厚生労働省～（再掲）

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/roudouki jun/anzeneisei38/index.html>

＊職場における熱中症による死亡災害の発生状況について～厚生労働省（再掲）
（報道発表資料上記とは多少違います）

<http://www.mhlw.go.jp/stf/houdou/2r98520000006xcz.html>

「事業仕分」後の動き

独立行政法人労働者健康福祉機構に関して、省内仕分けが4月15日、更に行政刷新会議の事業仕分けが4月23日に行われました。（メルマガ5月号で報告）

その後、表面上目立った動きはありませんが、情報によると次のような日程で産業保健推進センターの業務が変更されるようです。

- ①平成23年度から平成25年度にかけて47都道府県の産業保健推進センターを集約化すること。
- ②どの程度のスピードで集約化が進むのかははっきりしていませんが、最終的（平成25年度）には、16～17程度のセンターを残して、他のセンターは、「連絡員」のような職員を置く連絡事務所になる可能性があること。
- ③相談窓口は、待機式の窓口ではなく、予約制窓口となること。
- ④メンタルヘルス対策支援センターは47都道府県に配置すること。
- ⑤助成金は、本年度限りで廃止となること。

事業仕分けの性格上、仕分けの結論に沿った対応が求められるようです。

蒸し暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

事業仕分けの結果を気にしつつ、曇り空を眺める毎日ですが、先日は久しぶりで尾瀬へ行ってきました。前橋を出るときは土砂降りだったのですが、沼田市内では青空が顔を出し、鳩待峠を下り始めた頃は薄日が差す程度の絶好の尾瀬日和になっていました。少し大きくなった水芭蕉や白根葵などの花を眺めながらのんびりと休日を楽しんでまいりました。尾瀬は1万年前にできたとか、そこまで行かないまでも、息の長い仕事をしたいものです。

<<群馬産業保健推進センターメール配信サービス解除、変更はこちらから>>

<http://www.gummasanpo.jp/melmag/index.html>

<<このメールマガジンへのご意見・ご要望はこちらから>>

sanpo10@gummasanpo.jp

《発行元》群馬産業保健推進センター

電話：027-233-0026 FAX：027-233-9966